

## 北欧諸国の公共図書館における場の構成と活用に関する調査

図書館情報メディア研究科

博士後期課程 2年

201830501 河本 毬馨

### 背景：

情報技術が急速に発達した現代では、利用者はかつて図書館の大部分を占めていた図書を、その場に行かなくても電子的に閲覧することができるようになった。このため図書館の物理的な存在意義が問われるようになり、これまで「場としての図書館」について様々な観点から議論がなされてきた。近年では、移民の受け入れによるグローバル化や政策に対する民主主義的議論の促進などの視点から、図書館がもつ公共性や中立性といった性質に注目が集まってきている。ノルウェーでは 2013 年の図書館法改正<sup>i</sup>により、人々が集まる”meeting place”としての役割が条文に加えられた。

日本においても、在留外国人の増加に加え、孤立する高齢者の増加といった社会問題からも人々の出会いの場をつくることは重要である。また、図書館における場の事例を中心に調査報告を行うことで、先進的な場の特性を整理することができ、今後の場づくりの重要な資料となる。多機能な場を公共的に提供している北欧諸国の図書館は、今後の日本の図書館の場を検討するにあたって参考となる先進的な成功事例である。

### 目的：

本調査では、北欧諸国の先進的な図書館の場の構成や利用方法を調べることによって図書館がつくる場の特性を明らかにし、日本の図書館の場を考える上での新たな視点を獲得することを目的とする。この目的を達成させるために、以下の3つの調査課題に取り組む。

- (1) 図書館の場はどのような構成になっているか
- (2) 図書館の利用者は場をどのように活用しているか
- (3) 図書館員は場においてどのような役割を担っているか

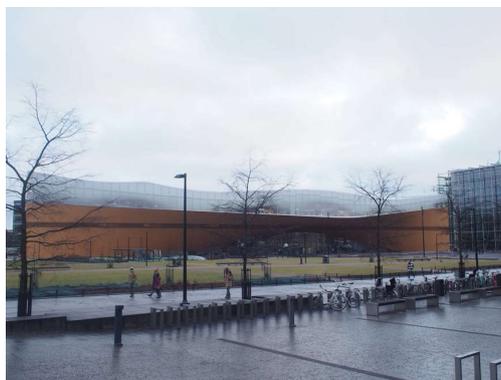
### 手法：

本プロジェクトは ALMPUB<sup>ii</sup>の研究者らとの共同研究として、Deichman の分館 6 館 Majorstuen, Torshov, Tøyen, Biblo Tøyen, Furuset, Stovner (ノルウェー図書館)、Dokk1 (デンマーク図書館)、Copenhagen Central Library (デンマーク図書館)、Oodi (フィンランド図書館) の 9 館の公共図書館を対象とした観察調査を実施した。観察調査は(1)場、(2)利用者、(3)図書館員の視点から行った。具体的には、(1)図書館のスペース構成、およびそれぞれの位置関係、(2)それぞれのスペースの利用者層、人数、および利用者の行動、(3)図書館員の人数、配置、各スペースにおいて担う役割、などについて観察した。観察結

果については、Jochumsen ら(2012)<sup>iii</sup>の Four Space Model 及び Kawamoto と Koizumi(2019)<sup>iv</sup>が作成した Model of “Library as Place”を参照しながら、各対象館の場の構成や活用についてそれぞれの特性を明らかにすることを試みた。

結果の概要：

地域の中央図書館である Dokk1 や Copenhagen Central Library, Oodi では利用者層も幅広く、人々のミーティングスペースや創造的活動の場として機能していることが分かった。また、Deichman の分館では、周辺地域の住民層を意識した場づくりがなされていた。例えば周辺地域に家族住みが多い Torshov では敷地の半分程度がリビングルームの様なクリーンで親しみやすいつくりとなっていた。また Stovner では周辺地域に移民が多いことから、公園の様な場をつくり言語カフェなどのプログラムを導入することで知人をつくるミーティングスペースとしての役割を重視していた。分館の図書館員の中でも、ヤングアダルト世代に限定した場を提供している Biblo Tøyen や Furuset の図書館員は特にフレンドリーで、利用者にレクリエーションや居心地の良さを提供していた。全体として北欧諸国の図書館では、従来図書館の役割の中心であった資料や情報の提供機能だけではなく、これらを発展させ新しいものを創造する段階も重視し利用者の生涯学習を支援していた。また利用者同士の会話や議論を促進させることでコミュニティ形成にも貢献していることが分かった。



写真左) Torshov のソファ、ラグ、間接照明のあるリビングルームの様な内装。

写真右) Oodi の外観。

---

<sup>i</sup> Kulturdepartementet. Lov om folkebibliotek (folkebibliotekloven). 2013-06-21.

<https://lovdata.no/dokument/NL/lov/1985-12-20-108> (参照 2020-01-25).

<sup>ii</sup> OSLO MTROPOLITAN UNIVERSITY. The ALM-Field, Digitalization and the Public Sphere (ALMPUB). <https://www.oslomet.no/forskning/forskningsprosjekter/almpub> (参照 2020-01-25).

- 
- iii Jochumsen, H., Rasmussen, C. H., and Skot-Hansen, D. (2012). The Four Spaces: A New Model For The Public Library. *New Library World*, 113(11): 586-597.
- iv Kawamoto, M., and Koizumi, M. (2019). Dimensions of Library as Place: A Qualitative Content Analysis. *Proceedings of the XXVII Bobcatsss Symposium*, p. 444-451.